

研修会だより

編集・発行 北海道立生涯学習推進センター
 〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7 8階
 電話 011-204-5781 ファックス 011-261-7431
 E-mail kensyu@manabi.pref.hokkaido.jp
 ホームページアドレス http://manabi.pref.hokkaido.jp/



人材育成を促進するため！関係団体等との連携を深めるため！
 社会教育に携わる者として、どのような意識や視点で取り組んでいくべきか...

◆◆平成26年度生涯学習推進基本講座(道央会場)終了◆◆

＜研修テーマ＞ 社会の要請にこたえた生涯学習・社会教育の推進について
 ～住民の協働による地域活動の充実を目指して～

平成27年1月22日(木)～23日(金)空知管内「芦別市民会館」を会場に、生涯学習推進基本講座(道央会場)を開催しました。30名の定員に対し、空知及び上川・十勝管内から計42名の参加があり、講義、事例発表の他、ワークショップをA・Bの2コースに分けて実施しました。本号ではその研修内容のポイントを紹介します。

・ワークショップA(リーダーの発掘・養成のための人材育成について)

リーダー発掘・養成のための人材育成には、「3つの柱」を意識した取組が重要！！

①個々の人材の育成強化

■人材の役割に応じて、学びと実践を組み合わせた多様な育成・強化メニューの用意が必要

学びと実践の繰り返しを...

- ・活動の場における人との出会いが大切
- ・子ども(小・中・高校生)には、実体験を通じた地域との関わりが大切
- ・大学生には、地域へ入り視野の拡大を図ることが大切
- ・地域活動をしている人・これからしたい人には、活動の場面での人材育成の視点が大切
- ・仕事と地域活動を両立させたい人には、忙しい人も活躍できる場づくりが大切
- ・これまでの経験・知識・スキルを地域活動に活かしたい人には、地域の財産である智慧や技術の活用を図る環境づくりが大切

リーダーを支える人材も必要！

- 能力、世代などが多種多様で主体的に行動できる人材
- 水平性・公平性を保ち、意見を言いあぐねている人をサポートできる人材
- 中間管理職的な役割を担うことができる人材

②人材の相互交流とネットワークの強化

■人材は地域内で育成することが基本
 ■育成には一定期間の時間が必要
 ■小さな地域では様々な人材の確保が困難(不足している人材は、内外のネットワークを通じたつながりでカバーすることが有効)

・それぞれに活動しながらも、互いにつながる

顔が見え、Win & Winの関係構築を！

- ・地域を越えた関係主体の相互交流、ネットワークづくり
 →解決の糸口、刺激、新たな活動
- 人材交流の場の創出
- ICTの積極的な活用
- ノウハウをつなげる

地域における様々な得意分野を持った存在を発掘し周囲が支えながら強制ではないゆるやかなつながりの中で協力し合える活動に取り組んでいく

それが「人材育成」へとつながる

そのためには、

- ・一人一人が役割を得て、やりがいを感じながら活動することを大切にする
- ・リーダーと共に地域活動を楽しみ、自信を持って前向きに取り組むことができるようにすることが必要

③外部人材活用に対する支援

■地域内において人材が必ずしも十分に確保、発揮されていない場合、外部から人材を招聘することが有効

地域起し協力隊を活用しては！

- ・外部人材が地域にもたらすもの
- 「ヨソモノ」の新鮮な目
- 情報発信なくして情報受信なし
- ・外部人材がその能力を発揮できる環境、条件
- 受入前後の地域のコミュニケーションに気を配る
- ノウハウの継承者の育成



・ワークショップB（関係団体との連携のあり方について）

関係団体の求めること + 行政の仕組みや仕掛け → 関係団体の連携（住民の社会参画）促進！

社会教育に関わる地域人材の活動実態について

関係団体との連携についてのヒントがここに！

■地域活動を盛んに行っている団体・グループ

- ①「自治会・町内会」79.5%
- ②「PTA組織、保護者会、親父（おやじ）の会」59.4%
- ③「子ども会」49.0%
- ④「女性団体」46.2%
- ⑤「自主防災組織（消防団等）」42.1%



■地域活動における課題

- ①「地域活動の参加者の高齢化が進んでいる」
- ②「地域活動の参加者が少ない、減ってきた」
- ③「活動する人材が偏っている」



■市町村において、地域活動を盛んに行っている団体・グループの平均的な数（平均153.3団体・グループ）

■団体・グループの1団体・グループあたりの平均的な人数（平均62.6人）

■生涯学習・社会教育主管課と連携先の他部局

- ①「学校教育部局」49.3%
- ②「保健福祉部局」38.4%
- ③「子ども・青少年部局」31.7%



■地域活動を行う団体・グループ（活動分野）について

- ・「講習会や勉強会等の生涯学習活動」分野は、「公民館等の講座の修了者でつくったサークル等（54.1%）」の割合が高い。
- ・「行事・お祭り等の企画運営」分野は、「自治体・町内会（80.0%）」の割合が高い。

■地域活動を行う団体・グループの数・人数について

- ・団体・グループ数は、「公民館等の講座の修了者でつくったサークル等」が多く、1市町村あたり平均116.4団体・グループである。
- ・団体・グループの人数が一番多いのは、「自治体・町内会」で、1団体あたり平均200.8人である。

■各団体・グループの種類別の参加者（年代層）について

- ・「自治会・町内会」「女性団体」「公民館等の講座の修了者でつくったサークル等」は、60代の割合が高い。
- ・「子ども会」「PTA組織、保護者会、親父（おやじ）の会」「子育てサークル・団体」は、30代、40代の割合が高い。

■活動分野別の団体・グループの主な参加者（年代層・性別）について

- ・「講習会や勉強会等の生涯学習活動」分野は、「公民館等の講座の修了者でつくったサークル等」からの参加者が多く、60代（特に女性）の割合が高い。
- ・「行事・お祭りの企画運営」分野は、「自治体・町内会」からの参加が多く、60代・50代男性の割合が高い。



■生涯学習・社会教育主管課が、地域活動に関わる人材（地域人材）を発掘・養成するために行っている取組について

- ・「各種の講座を実施する中で、地域活動に興味・関心等のある人に声をかける」割合（37.5%）
- ・「行事やお祭りのイベント運営を共同で行い、段取りなどを共有する」割合（32.5%）

〈関係団体の求めること〉

- ・地域活動に対する補助金等、資金面での援助
- ・地域活動に関する広報等の実施
- ・地域活動に関する情報の提供
- ・専門家や出前講座等の派遣
- ・地域活動の拠点となる場所の設置・提供
- ・地域活動の実践者やリーダーを養成する講座の開催 など

〈行政の仕組みや仕掛け〉

- ・国、道の団体活動による助成金の情報提供
- ・産学官（特に企業）との連携促進
- ・毎月の広報への情報掲載
- ・人材バンクの活用
- ・リーダー養成研修会の企画運営
- ・団体間交流（リーダー同士の交流）の設定、団体間の連携促進 など

〈関係団体の連携（住民の社会参画）促進！〉

- ・講習会や勉強会等の生涯学習活動の取組
- ・地域の学校支援
- ・家庭教育、子育て支援活動
- ・まちの行事やお祭り、イベント等の企画運営
- ・まちづくりや地域づくり など

「社会教育に関わる地域人材の養成実態及び活動実態に関する調査研究」から
 [2012年11月29日～12月20日 全国の都道府県・市区町村教育委員会に対してのアンケート調査実施]
 有効回収数1119/1785件（回収率62.7%） 参考：平成25年度文部科学省委託調査

〈調査の目的〉社会教育に関わり地域の課題解決を行う人材のうち、中心的に活躍する人材の活動実態や行政や大学等による育成実態及び社会教育主事等との連携状況を把握することで、社会教育に関わる人材の在り方等を検討する際の知見を得るもの

関係団体の求めと我々関係職員の仕組みや仕掛けのマッチングが重要！！

●本研修会事業報告書について●

「生涯学習ほっかいどう」トップページの「生涯学習推進センター情報（<http://manabi.pref.hokkaido.jp/>）並びに「平成26年度主催講座一覧」（<http://manabi.pref.hokkaido.jp/center/jigyo/h26/index.html>）に掲載していますので、本研修会だよりとあわせて御覧ください。また、本研修講座の内容や資料についてのお問い合わせは、担当：柴野 ☎ 011-231-4111（内線36-328）まで御連絡ください。